

交流センター道徳で、第19回センター祭りが開催されました。

保育園児たちのダンスや大正琴、舞踊、カラオケなど様々な演目が演じられたほか、小中学生の絵画や習字、生け花、己書、グッズなど多くの作品も展示されました。さらに、女性会のみなさんによるぜんざいの提供もあり、演じる皆さんも鑑賞する皆さんも大いに盛り上がり、とてもよい交流の機会になっていました。



▲嵐会の踊り 風雪流れ旅

花クラブの生け花



▲花クラブの方々により、季節の花々がさまざまなモチーフで生けられてありました。とても華やかでありながら、個性が出ていて、見応えのある作品ばかりでした。

子ども会の作品



▲「ゆめだったのかな」というお話をもとに書かれた道徳東ひばり子ども会と六条四ひまわり子ども会の合同の作品です。力を合わせて書いている子どもたちの様子が想像できる、楽しい絵画でした。

ぜんざいを楽しむ



▲女性会の皆さんが提供してくださったぜんざいを囲んで、皆さんが談笑されていました。おいしい一杯と梅干、きれいな切り花などの心配りが、交流センターの名にふさわしい和やかな交流の場を作りだしているのだと感じました。

参加者の声

- ・歌を聴いたり踊りを見たりすることが大好きで、毎年楽しみにしています。みなさんとてもお上手で感心します。お友達にも会えるし、ぜんざいもおいしくて、大好きな行事です。
- ・発表の場があるので、おけいこも目標をもって取り組みます。ほめてもらうとうれしいですよ。励みになりますね。

主催者の声

- ・ぜんざいは250人分、5人で前の日から準備しました。今日は15名が給仕や片付けを交代でやっています。大変だけど、みんなで作るので楽しいですよ。
- ・発表する場があると励みになるという声を聴くので、みなさんが楽しんで参加してくれば、何よりですね。